

新しい感染症の確認で、改めて注目されるマダニ
シリーズ 仕事に懸ける (今回は 管理課疫学情報担当 です)

新しい感染症の確認で、改めて注目されるマダニ



微生物部門衛生動物担当

マダニが媒介する新しい感染症「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」が日本国内でも発生していることが確認されました。2014年7月2日現在、73名ものSFTS患者が報告されています(感染症発生動向調査による。)。マダニは日本紅斑熱やライム病を媒介する害虫として有名ですが、この新しい感染症SFTSの確認により、改めてマダニについての関心が高まっています。

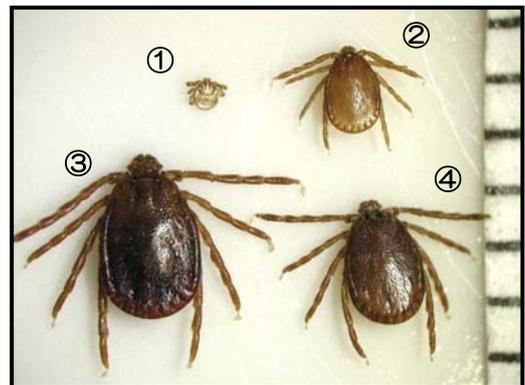


1 マダニとは??

ダニの仲間になりますが、食品に付くコナダニ、人を吸血するイエダニ、室内のホコリの中にいてアレルギーの原因にもなるチリダニなどとは全く種類が異なります。マダニは他のダニ類に比べて外皮が硬く、成虫の大きさは吸血前で3~8mm、吸血後は10~20mmにもなる大型のダニです。分類上はクモの仲間に近く、足はクモと同じく8本(幼虫期は6本)あります。

2 マダニの生活史

マダニは、幼虫→若虫→成虫と成長し、その各発育期で1回ずつ合計3回吸血します。木の葉や草の裏に潜んでいて、動物が近づくのをじっと待っています。宿主は主にシカ、イノシシ、野ねずみなどの野生動物ですが、散歩中の犬に取り付いたり、山仕事やハイキングで山に入ったヒトが寄生される場合もよくあります。



フタトゲチマダニの発育期
①幼虫 ②若虫 ③メス成虫 ④オス成虫

3 マダニの口器

マダニの口器はパイナップルのような形をしていて、逆向きの歯列があり、それを皮膚に刺して吸血します。そのため、無理に引き離すと口器が皮膚に残って化膿することがあります。ダニに寄生されているのを見つけたときは、自分で取り除かず、医療機関（皮膚科）で処置をしてもらいましょう。



フタトゲチマダニの口器

4 吸血で満腹になったマダニ

マダニは動物やヒトに取り付くと、数日から10日ほどかけて吸血します。しかし、その間、咬まれていることに気が付かないことが多いようです。満腹するまで吸血したマダニの成虫はアズキ大まで膨れ上がり、元の形とはまったくちがった形になります。



満腹まで吸血したマダニ

5 マダニの生息場所

野生動物が多く出現する場所に生息していますが、野山や草むらだけでなく、里山に近い民家の庭やあぜ道などにもいることがあります。また寄生した動物に運ばれて、都市部の公園や河川敷に生息していることもあります。



6 被害を防ぐには。。。

(1) マダニの活動が活発な時期（春から秋）にマダニが生息するような場所（山や草むら）に入る時は次のことに気を付けましょう。

- ・服装はできるだけ肌の露出を避けるようにし、衣服は表面がつるつるした布地でできた白っぽいものを選ぶ（マダニが付きにくいし、付いても気づきやすい！）。
- ・座るときは地面に直接座らず、敷物を使う。
- ・忌避剤（虫よけ）をできるだけ使う。

(2) 野山から帰宅したら...

- ・家に入る前に外で体をはたいて、衣類に付いているマダニを落とす。
- ・衣類はすぐに洗濯する。
- ・シャワーや入浴をして、体にマダニが付いていないか点検する（特に、脇の下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）を念入りに。）。

京都市での調査

京都市では数年前からマダニの生息調査を行っています。調査方法はフランネルの布を草むらや樹木の葉の上で引きずり、布に付着したマダニを採取します(旗ずり法)。現在まで市内28箇所を調査し、そのうち16箇所でマダニを採集しました。



旗ずり法による採集



布に付着したマダニをピンセットで採取

京都市内で採集されたマダニは次の5種です。



キチマダニ



ヒゲナガチマダニ



フタトゲチマダニ



タカサゴキララマダニ



台湾カクマダニ

当研究所では、今後も京都市内におけるマダニの分布と生態について調査を継続していく予定です。

シリーズ 仕事に懸ける (8)



今回は 管理課疫学情報担当 長谷 昌巳 さん

今号は、管理課疫学情報担当2年目の長谷さんをご紹介します。

管理課疫学情報担当の仕事内容を教えてください

感染症情報センターとして、医療機関の方々の協力のもと、感染症の発生情報を把握・分析し、その結果を迅速かつ的確に提供・公開しています。

- ・患者数は増えつつあるのか減りつつあるのか
- ・患者の年齢層はどれくらいなのか
- ・行政区によって発生の差があるのか etc.

最近流行している感染症や注意の必要な感染症などの情報をお知らせしています。



仕事の際、どのようなことを心掛けていますか？

感染症はそのものをなくすことはできないので、「感染をひろげない」ことがとても重要だと思います。感染症の流行状況とともに、その対策に関する基本的な知識やポイントをわかりやすくお知らせできるように気を配っています。

アフターファイブをどのように過ごしていますか？

毎日、3人の子どもたちと一緒に遊んでいます。
(遊ばれていると言った方が正しいかもしれませんが...)
子どもたちと関わる中で、私自身が癒され、それがまた明日へのエネルギーになっています。たまに、飲みにも行きます！！



お酒が好きだと聞きましたが、おすすめは？

お酒はどれも好きですが、その中でも純米吟醸の日本酒が好きです。くだものような甘い香りがして、雑味がなく、米の旨みもしっかりとあって幸せな気分になれます。美味しいお酒は、誰が飲んでも美味しいと思うはずです！（たぶん...）



休みの日はどのように過ごしていますか？

子どもたちの習い事の送り迎えで、こき使われています。その合間に、電器屋さん立ち寄って家電製品を見ている。我が家の様々な家電が寿命を迎えているようで、その買い替えに四苦八苦している状態です...



仕事へのスタンスなどで考えていることは？

仕事と子育てのどちらも大事にしたいと思っていますので、仕事では時間を意識して作業を行うように、そして、家では子どもたちと過ごす時間を大切にしたいと思っています。



今後の抱負を聞かせください

京都市で働く行政薬剤師の仕事は、非常に多岐に渡っているため、これからさまざまな職場に異動すると思います。どの職場でも、常に人と関わりますし、一人でやれることには限界があると思いますので、積極的にコミュニケーションを図っていきたいと思います。

ありがとうございました

続いて、“夏のこどもの感染症”についてお話しします。

夏休みは、暑さによる食欲不振や生活習慣の乱れから、なにかと体調を崩しがちになります。そんな子どもたちを感染症が狙っています。



1 感染症とは？

感染症とは、ウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入して増殖し、さまざまな症状が出ることをいいます。感染症には、人から人にうつる伝染性の感染症のほか、動物や昆虫から、あるいは傷口から感染する非伝染性の感染症も含まれています。感染してもほとんど症状が出ずに終わってしまうものもあれば、一度症状が出るとなかなか治りにくく、時には死に至るような感染症もあります。

2 手足口病

(1) どのような病気？

- ・コクサッキーウイルス、エンテロウイルスの感染により、口の粘膜および手足に水ぼうそうのような発疹が現れる乳幼児の病気です。
- ・発症者の約3分の1に軽度の発熱がみられますが、高熱が続くことはありません。咳をしたときのしぶきや、便から感染します。
- ・感染してから病気の症状が出るまでの期間は、3～5日です。

(2) かからないためにはどうしよう？

- ・手洗いをします。
- ・回復後2～4週間は、なお便からウイルスの排出があり、人に感染させるおそれがあるため、便や尿の処理には特に注意します。



3 ヘルパンギーナ

(1) どのような病気？

- ・コクサッキーウイルスなどにより、38～40度の発熱で発症し、同時に喉が痛む病気で、発熱が1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを起こします。
- ・一般的に経過は良好で、後遺症は残らず、2～3日以内に回復します。
- ・主に1～4歳くらいまでの乳幼児がかかります。
- ・急性期には、のどからウイルスが排泄されるため、咳をしたときのしぶきにより感染します。
- ・急性期～回復期（発症後4週間ごろまで）には、便からウイルスが排泄されます。



(2) かからないためにはどうしよう？

- ・特別な予防方法はなく、おむつの交換など便を扱ったあとは手洗いをきちんとし、洗濯物を日光で乾かします。



4 伝染性紅斑（りんご病）

(1) どのような病気？

- ・咳をしたときのしぶきや接触により感染し、軽いかぜ症状と、両頬、腕、足にレース様の紅い発しんを生じる病気です。
- ・主に幼児，学童がかかります。



(2) かからないためにはどうしよう？

- ・紅い発しんが出てきた時期には，感染力はありませんので，特に感染を予防する必要はありません。

5 咽頭結膜熱（プール熱）

(1) どのような病気？

- ・アデノウイルスの感染により，発熱（38～39 度），喉の痛み，結膜炎といった症状を来す，小児に多い病気です。
- ・プールを介して流行することもあるので，プール熱と呼ばれることもあります。
- ・通常，6月ごろから徐々に流行し初め，7～8月にピークとなります。

(2) かからないためにはどうしよう？

- ・流行時には，流水と石けんによる手洗い，うがいをしっかりします。
- ・タオルなどは共用しないでください。
- ・プールから上がったときは，シャワーでしっかり体を洗います。



6 海外旅行時の感染症予防対策

夏休み，家族などで海外旅行に行かれる場合，以下の点に注意して感染症から身を守りましょう。

- (1) 旅行先の感染症情報などを集めて，感染する可能性のある病気の予防方法などについて，あらかじめ調べておきます。
- (2) 生水，氷，生野菜，刺身などは，病原体に汚染されている可能性があるため，注意が必要です。
- (3) 感染症を媒介する昆虫なども多いので，虫さされなどに注意してください。



- (4) 旅行中や帰国後に発熱や下痢，血便など普段と異なる症状がでた場合は，医師の診察を受けてください。また，帰国時に具合が悪い場合や不安に思うことがある場合には，空港や港の検疫所で健康相談を行っていますので，積極的に利用してください。

最後に・・・

感染症を予防するには、毎日の心がけが大切です。外出先から帰ったときや食事前の手洗いを習慣付けるだけでも、ずいぶんと予防につながります。目に見えない汚れなどをとるために、爪の間や手首などしっかりと丁寧に洗いましょう。夏休みにはアウトドアなどを楽しむ機会が多くなりますが、外での食事の支度時は、念入りに手や食材を洗いましょう。食材は十分に加熱し、感染症や食中毒を予防しましょう。

管理課疫学情報担当では毎月「こどもの感染症」を発行しています。

平成26年8月
京都市こどもの感染症
感染症を予防して夏休みを楽しみましょう!!

楽しい夏のレジャーにも、感染症の危険が潜んでいます！大人がしっかり守ってあげましょう！！

プールでは...?
プールを介して広がる咽頭結膜熱（プール熱）や流行性角結膜炎などに注意しましょう。
● 同じタオルを使うと感染するので、タオルの共用はやめよう！
● プールの後はシャワーで体をしっかり洗おう！
● 手で目をこすらない！

バーベキューでは...?
腸管出血性大腸菌やカンピロバクターなどの食中毒をおこさないようにしましょう。
● お肉は十分に加熱し、生のお肉は食べない！
● 生のお肉に触れるおはしと食べるおはしは別々にする！

お弁当は...?
夏は食中毒の多い季節です。お弁当には細心の注意を払いましょう。
● 余分な汁気をしっかり切る！（水が多い生野菜は控える）
● ごはんやおかずはさましてから詰め、涼しいところで保管する！（保冷剤などで冷やしておく）
● 長時間放置せず、なるべく早く食べる！

外から帰ったら、手洗いうがいを徹底する！

● 京都市こどもの感染症に関するお問い合わせ
○ お近くの保健センター
○ 京都市保健福祉局 保健医療課 (TEL:075-222-4421 FAX:075-222-3416) 京都市衛生環境研究所
○ 京都市衛生環境研究所 管理課 (TEL:075-312-4942 FAX:075-311-3232) 平成26年8月 発行 京都市
* 衛生環境研究所のホームページからもご覧いただけます *

発行期間：平成26年8月1日～8月31日



詳細は、下記をご参照ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

編集発行

京都市衛生環境研究所

平成26年8月 発行

京都市印刷物
第 264398 号

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1番地の20

TEL (075)312-4941 (代)

FAX (075)311-3232

URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/>

41-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html

